


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

平成27年 2月15日

山北町議会議長 池谷 荘次郎 殿

受付番号	第 2号	質問議員	3番	渡 辺 良 孝 
件 名	東山北1000計画に向けた道路整備			
要 旨				
<p>私は、4年間の議会活動の中、町の活性化に絡めて観光・地域振興の基となる道路アクセスを調べてきました。その結果遅れを強く感じました。</p> <p>平成24年に、当町にとって数十年来懸案の国道改修事業である、国道246号線山北バイパス（向原地区）が開通しました。以後、関連する県道関係では大変遅れていた東山北停車場線の三菱ガス化学（株）前の県道の工事が着工され、明るい兆しが見えてきました。このことは、町が県への要望、そして、地元交渉の支援に積極的に取り組んできた結果であり、今後もこの動きを強く推し進めていくべきであると思う。</p> <p>特に、県道関連では県の道路計画から外れてしまうと、復活するには相当の期間が掛かり、復活するかどうか難しい場合もある。</p> <p>これから東山北1000計画を推進していくには、関連の道路整備を急ぐことにより計画が具現化してくることと思ひ、再度になりますが質問をします。</p> <p>1) 平成25年3月議会で、酒匂川左岸の河川管理通路「山北高校～松田町」の利用可能な部分を町道化し、活用するよう質問をしました。回答は、護岸工事が26年度にぐみの木近隣公園の先端まで完成予定である。護岸工事の進捗状況を見て、県や松田町と十分調整し取り組んでいく、との回答でした。</p> <p>今町は、東山北1000計画を推進する中、原耕地に大型商業施設の進出などにより近隣市町との生活圈ルートが急激に求められてきている。そのようなことからこの河川管理通路は、山北高校前～松田町庶子の間、の堤防用地の占用による工事であり、松田町側はすでに幅3mの舗装が施されている。そのため工事費が安く、財政負</p>				

担が少なくできるルートである。最近における早いテンポの環境の変化に対応するためには、柔軟性を持った行政推進が必要と思う。そこで、ぐみの木近隣公園の上流側からの護岸工事の進捗状況に係らず、羽田共和コンクリート（株）前から松田町とのルートを先行するよう松田町と協議・調整の上、可能であれば県へ要望し早期に執行していくべきと思うが町の考えを伺う。

- 2) 平成25年12月議会で、東山北のJRガード下から旧国道246号線の間83mが一部町道になっているため、県が管理する県道化を要望すべきではないか、との質問をしました。その回答は、今までの国道がどうなるかその点を見据えて県道化への交渉を進める、とのことであった。

平成26年、原耕地へ大型商業施設のオープンにより県道721号線「東山北停車場線」沿線の環境の急激な変化に合わせ、三菱ガス化学（株）前の工事が進んでいる。そして向原交差点付近の舗装も改修された。このような現状から、東山北駅を起点とする「東山北停車場線」としての県道の認識ではなく、県の一括管理の基に旧246号線を起点とすべき道路状況であり、県道化を再度要望していくのが好機である。